

注3

大学番号：私197

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

金城大学 医療健康学部 作業療法学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部

職名・氏名 主査・坂 ^{サカ} ^{グチ} ^{ケン} 憲 三

電話番号 076-276-4400

（夜間） 076-276-4400

F A X 076-275-4316

e-mail hops@kinjo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 管理運営組織	1
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2	授業科目の概要	5
	(1) 授業科目表	5
	(2) 授業科目数	8
	(3) 未開講科目	9
	(4) 廃止科目	9
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」 及び「学生への周知方法」	9
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	12
5	教員組織の状況	14
	(1) 担当教員表	14
	(2) 専任教員数等	20
	(3) 専任教員辞任等の理由	21
	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	22
6	留意事項等に対する履行状況等	23
7	その他全般的事項	25
	(1) 設置計画変更事項等	25
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	25
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	26
	(4) 情報公表に関する事項	27
	添付資料1	28
	添付資料2	33
	添付資料3	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金城学園

(2) 大学名

金城大学

(3) 大学の位置

〒924-8511

石川県白山市笠間町1200番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ アキラ) 加藤 晃 (昭和40年9月)	(カトウ シンイチ) 加藤 真一 (平成25年7月)	辞任のため(26) (平成25年7月)
学長	(ナラ イサオ) 奈良 勲 (平成24年4月)	(ハンヤ シズオ) 半谷 静雄 (平成26年4月)	辞任のため(26) (平成26年4月)
学部長	(ナラ イサオ) 奈良 勲 (平成24年4月)	(サツ シュンジ) 澤 俊二雄 (平成27年4月) 半谷 静雄 (平成26年4月)	辞任のため(27) 辞任のため(26) (平成27年4月) (平成26年4月)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療健康学部 作業療法学科 学士(作業療法学)	4年	35人	- 年次人	140人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	35 (-) [-]	-	35 (-) [-]	-	35 (-) [-]	-	35 (-) [-]	-	35 (-) [-]	-	1.02倍	
志願者数	183 (-) [-]	-	141 (-) [-]	-	175 (-) [-]	-	97 (-) [-]	-	97 (-) [-]	-		
受験者数	182 (-) [-]	-	140 (-) [-]	-	173 (-) [-]	-	95 (-) [-]	-	95 (-) [-]	-		
合格者数	78 (-) [-]	-	70 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	77 (-) [-]	-	77 (-) [-]	-		
B 入学者数	41 (-) [-]	-	33 (-) [-]	-	42 (-) [-]	-	27 (-) [-]	-	27 (-) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	1.17倍		0.94倍		1.20倍		0.77倍					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (0) 41	[-] (-) -	[0] (0) 33	[-] (-) -	[0] (0) 42	[-] (-) -	[0] (0) 27	[-] (-) -	
2年次	/		[0] (0) 39	[-] (-) -	[0] (0) 31	[-] (-) -	[0] (0) 39	[-] (-) -	
3年次	/		/		[0] (0) 37	[-] (-) -	[0] (0) 31	[-] (-) -	
4年次	/		/		/		[0] (0) 36	[-] (-) -	
計	[-] (-) 41	[-] (-) -	[-] (-) 72	[-] (-) -	[-] (-) 110	[-] (-) -	[-] (-) 133	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	41 人	5 人	平成25年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学(1人) ・就職(1人)	12.2% %
			平成26年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学(1人) ・就職(1人)	
			平成27年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	33 人	2 人	平成26年度	2 人	0 人	・修学意欲の低下(1人) ・就職(1人)	6.1% %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	42 人	3 人	平成27年度	3 人	0 人	・就職(1人) ・除籍(2人)	7.1% %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	27 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0% %
合 計	143 人	10 人					7.0% %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療健康学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	スポーツ	1後	1								兼	1	
	スポーツ理論	2前	2								兼	1	
	レクリエーション活動Ⅰ	1前 未開講		1							兼	1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 通常開講(26) 履修希望者なしのため未開講(25)
	レクリエーション活動Ⅱ	1後 未開講		1							兼	1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加。履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加。通常開講(27) 履修希望者なしのため未開講(26)
	英語Ⅰ	1前	1								兼	4	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
	英語Ⅱ	1前	1								兼	4	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
	英語Ⅲ	1後	1								兼	4	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	英語Ⅳ	1後	1								兼	4	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前 未開講		1							兼	2	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除(27)
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後 未開講		1							兼	2	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除。履修希望者なしのため未開講(27)
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前 未開講		1							兼	1	通常開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後 未開講		1							兼	1	履修希望者なしのため未開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)
	医学英語	3前	1								兼	1	教育効果の理由により、配当学期を変更(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27)
	情報処理演習Ⅰ	1前	1								兼	1	
	情報処理演習Ⅱ	1後	1								兼	1	
	基礎演習Ⅰ	1前	1				1	2	1				
	基礎演習Ⅱ	1後	1				1	2	1				
小計(17科目)	—	—	10	8	0	0	1	2	1	0	兼	13 14 11	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
主題科目	ボランティア入門	1前	2								兼	1	
	ボランティア活動Ⅰ	1通	1					2	1		兼	1	
	ボランティア活動Ⅱ	2通	1					2	1		兼	1	
	統計学	3後	1								兼	1	教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前	2								兼	1	
	自然科学Ⅱ(物理系)	1前	2								兼	1	教育効果の理由により、配当学期を変更(27)
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前	2								兼	1	教育効果の理由により、配当学期を変更(27)
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後	2								兼	1	
	自然科学概論	1前 未開講		2							兼	1	通常開講(28) 履修希望者なしのため未開講(26) 履修希望者なしのため未開講(25)
	環境論	2後 未開講		2							兼	1	通常開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)
	自然地理	3前 未開講		2							兼	1	履修希望者なしのため未開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)
	社会学	2後 未開講		2							兼	1	通常開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前 未開講		2							兼	1	履修希望者なしのため未開講(28)
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後	2								兼	1	
	介護福祉論Ⅰ	3前 未開講		2							兼	1	履修希望者なしのため未開講(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加。履修希望者なしのため未開講(27)
	介護福祉論Ⅱ	4後	2								兼	1	
	高齢者福祉論	1前 未開講		2							兼	1	履修希望者なしのため未開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
障害者福祉論	1後 未開講		2							兼	1	担当者変更の理由により教員を削除及び追加。通常開講(28) 履修希望者なしのため未開講(26)	
法学(憲法)Ⅰ	2前 未開講		2							兼	1	担当者変更の理由により教員を削除。履修希望者なしのため未開講(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
主題科目	法学Ⅱ	未開講 2後		2								兼 1 -2 +1	担当者変更の理由により教員を削除。履修希望者なしのため未開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	医療関係法	未開講 3後		2								兼 1 -2 +1	担当者変更の理由により教員を削除。履修希望者なしのため未開講(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	美術	1後		2								兼 1 -2 +1	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	日本文学Ⅰ	未開講 2前		2								兼 1 -2 +1	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	日本文学Ⅱ	未開講 2後		2								兼 1 -2 +1	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により、教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
	日本史Ⅰ	1後		2								兼 1	
	日本史Ⅱ	1後		2								兼 1	
	東洋史	3後		2								兼 1	
	小計(27科目)	—		2	49	0	0	0	2	1	0		兼 1 -18 +16
専門基本科目	解剖学Ⅰ	1前		2								兼 1	
	解剖学Ⅱ	1通		1								兼 1	
	解剖学Ⅲ	1後		1								兼 1	
	解剖学Ⅳ	1後～2通		1								兼 1	
	解剖学実習	1通		1						1		兼 2	教育体制充実の理由により、助手を追加(27)
	生理学Ⅰ	1前		1		1							
	生理学Ⅱ	1後		1		1							
	生理学実習	1通		1		1				1		兼 2	教育体制充実の理由により、助手を追加(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
	運動学Ⅰ	2前		1			1	1					
	運動学Ⅱ	2後		1			1	1					
	運動学実習	2後		1			1	1					
	人間発達学	2前		1								兼 1	
	病理学	2後		1		1						兼 0 +1	担当者変更の理由により教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 森 啓至(教授)
	臨床心理学Ⅰ	2前		1								兼 1 -2 +1	担当者変更の理由により教員を削除(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	臨床心理学Ⅱ	2後		1								兼 1 -2 +1	担当者変更の理由により教員を削除(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加(27)
	心理学	1通		4								兼 1	
	カウンセリング演習	未開講 3後		1								兼 1	履修希望者なしのため未開講(28)
	高齢者の心理	4後		2								兼 1	心理学系選択科目から2単位以上
	障害者の心理	4後		2								兼 1	
	精神医学	2前		2		1							
	医学概論	1後		1								兼 1	
	健康科学	1前		1		1						兼 0 +1	担当者変更の理由により教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 森 啓至(教授)
	生命と医療の倫理	1後		1		1							
	内科学Ⅰ	2前		1								兼 1	
	内科学Ⅱ	2後		1								兼 1	
	整形外科Ⅰ	2前		1		1						兼 1	教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 野村 忠雄(教授)
	整形外科Ⅱ	2後		1		1						兼 1	教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 野村 忠雄(教授)
	神経内科学Ⅰ	2前		1		1							
	神経内科学Ⅱ	2後		1		1							
	小児科学	2前		1		1						兼 1	教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 野村 忠雄(教授)
	老年学	2前		1		1							
	安全管理	1後		1								兼 1	
感染防御	1後		1								兼 1		
公衆衛生学	1前		2								兼 1	担当者変更の理由により教員を削除及び追加(28)	
リハビリテーション医学	1後		1		1						兼 1	教育体制充実の理由により、専任教員を追加(26) 担当 野村 忠雄(教授)	
リハビリテーション概論	1前		1		2						兼 2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基本科目	社会福祉概論Ⅰ	未開講 1前		2							兼1 2 +	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により教員を削除。履修希望者なしのため未開講(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加、履修希望者なしのため未開講(26) 履修希望者なしのため未開講(25)
	社会福祉概論Ⅱ	未開講 1後		2							兼1 2 +	履修希望者なしのため未開講(28) 担当者変更の理由により教員を削除。履修希望者なしのため未開講(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加、履修希望者なしのため未開講(26)
	ケアマネジメント	4後		2							兼1	
	小計(39科目)	—	32	18	0	5 4	1	1	0	1 0	兼1 18 7	担当者変更の理由により、教員を削除(28) 教育体制充実の理由により、教員及び助手を追加。担当者変更の理由により、教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26)
専門展開科目	作業療法学概論	1前 後	2			2						
	基礎作業療法学	2前	1			1	1					教育効果の理由により、配当学期を変更(28)
	作業療法教育管理学	3前	2			2						
	作業療法研究法	3前	1			2						
	病態運動学	3前		2			1	1				
	作業療法評価概論	1後	1			2						
	検査・測定論Ⅰ	2前	1			1	2	1				
	検査・測定論Ⅱ	2後	1			1	2	1				
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1			1	2	1	1			教育体制充実の理由により、助手を追加(27)
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1			1	2	1	1			教育体制充実の理由により、助手を追加(27)
	作業療法治療学Ⅰ(身体)	2前	2			1	2					
	作業療法治療学Ⅱ(中枢1)	2前	2			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅲ(中枢2)	2後	2			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅳ(精神障害)	2後	2				1					
	作業療法治療学Ⅴ(内部障害)	3前	1			1						
	作業療法治療学Ⅵ(老年期)	3前	1					1				
	作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)	3前	1			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅷ(発達障害)	3前	1				1					
	作業療法治療学Ⅸ(職業前)	3前	1					1				
	作業療法治療学実習Ⅰ(身体)	2前 後	1			1	2					教育効果の理由により、配当学期を変更(28)
	作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1)	2前	1			1	1	1				
	作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2)	2後	1			1	1	1				
	作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害)	2後	1			1	1					
	義肢装具学	3前	2				1					
	義肢装具実習	3後	1				1					
	日常生活活動学	2前	2			1	1					
	日常生活活動実習	2後	1			1	1					
	スポーツリハビリテーション	3後		1							兼1	
	作業学Ⅰ(木工・陶芸等)	3前		1				1	1	1		教育体制充実の理由により、助手を追加(27)
	作業学Ⅱ(革細工・籐細工等)	3前 後		1				1	1	1		教育効果の理由により、配当学期を変更(28) 教育体制充実の理由により、助手を追加(27)
	地域リハビリテーション	3前	2			1						
生活環境学	3前	1				1						
リハビリテーション関連機器	3後 1後	1				1						
地域福祉論	3前 未開講		2							兼1	履修希望者なしのため未開講(28) 教育効果の理由により、配当学期を変更(27)	
臨床評価実習	3通年	4			2	2	2	1	1		教育体制充実の理由により、助手を追加(27)	
臨床実習Ⅰ	4前	8			2	2	2	1				
臨床実習Ⅱ	4前	8			2	2	2	1				
見学実習	1~2通	1			2	2	2	1	1		教育体制充実の理由により、助手を追加(27)	
基礎実習	2~3通	4			2	2	2	1	1		教育体制充実の理由により、助手を追加(27)	
客観的臨床能力評価	2~4通	1			2	2	2	1	1		教育体制充実の理由により、助手を追加(27)	
基礎ゼミⅠ	3前	1			3	2	2					
基礎ゼミⅡ	未開講 3前		1		3	2	2				履修希望者なしのため未開講(28) 履修希望者なしのため未開講(27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 展開 科目	卒業研究ゼミⅠ	3後	1			3	2	2				
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1			3	2	2				
	卒業論文	3後~4通	3			3	2	2				
	総合学習	4後	1			3	2	2	1			
	小計(46科目)	—	103	32	0	3	2	2	1	0	兼2	
合計(129科目)		—	147	107	0	5	2	2	1	0	兼2 46 43 48 41	教育体制充実の理由により、助手を追加(27) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 教育体制充実の理由により、教員を削除及び追加、助手を追加。担当者変更の理由により、教員を削除(27) 教育体制充実の理由により、教員を追加(26) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
80	49	0	129	80	49	0	129	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	2,239.40 -0 m ²	84,439.00 84,538.00 m ²	0 m ²	86,678.40 84,538.00 m ²	金城大学短期大学部と 共用					
	運動場用地	0 m ²	18,379.00 18,511.00 m ²	0 m ²	18,379.00 18,511.00 m ²	看護学部増設及び自治 体による道路改良事業 に係る増減のため					
	小 計	2,239.40 -0 m ²	102,818.00 103,049.00 m ²	0 m ²	105,057.40 103,049.00 m ²	借用面積：2,239.40m ²					
	そ の 他	0 m ²	8,935.00 9,197.81 m ²	1,978.00 m ²	10,913.00 11,175.81 m ²	借用期間：50年 (27)					
	合 計	2,239.40 -0 m ²	111,753.00 112,246.81 m ²	1,978.00 m ²	115,970.40 114,224.81 m ²						
(2) 校 舎	専 用	18,602.44 13,937.88 -14,017.13 m ²	2,929.48 6,184.40 m ²	8,911.94 9,294.89 m ²	30,443.86 25,779.30 -29,496.42 m ²	金城大学短期大学部と 共用 建設設計と登記上の面積 の誤差及び算入した 基準外施設的面積を訂 正したため (25)					
		18,602.44 13,937.88 (-14,017.13 m ²)	2,929.48 (-6,184.40 m ²)	(8,911.94 (-9,294.89 m ²))	30,443.86 25,779.30 (-29,496.42 m ²)	看護学部増設のため 土地の借用面積： 2,239.40m ² 借用期間：50年 (27)					
(3) 教 室 等	講 義 室	36 -31 室	演 習 室	21 19 室	実験実習室	16 12 室	情報処理学習施設	1 室 (補助職員 0人)	語学学習施設	0 室 (補助職員 0人)	大学全体 看護学部増設のため (27)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		届出学科全体			
		医療健康学部 作業療法学科			9		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書20,000冊 機械・器具3,000点 教育環境の向上等を考え見 直したため (25)			
	医療健康学部 作業療法学科	4,864 [241] (7,120 [592]) (7,028 [570]) (6,631 [488]) (4,744 [202]) (4,664 [201])	62 [17] (58 [16]) (57 [16]) (62 [17])	5 [5] (4 [4]) (5 [5])	260 (336) (260)	2,400 (2,658) (2,626) (2,604) (2,332) (2,100)	32 (34) (32)	国内外雑誌が一部廃刊となり、 購入不可となったため (25)			
	計	4,864 [241] (7,120 [592]) (7,028 [570]) (6,631 [488]) (4,744 [202]) (4,664 [201])	62 [17] (58 [16]) (57 [16]) (62 [17])	5 [5] (4 [4]) (5 [5])	260 (336) (260)	2,400 (2,658) (2,626) (2,604) (2,332) (2,100)	32 (34) (32)	教育環境の向上に加え、電子 ジャーナルの一部廃刊及び 大学院設置計画に伴い、 既存の関連図書分野等を 一部見直したため (26)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	788.23 -673.93 m ²		244 -212 席		83,000 -78,000 冊		看護学部増設のため 笠間キャンパス： 67393m ² 、閲覧席212席 松任キャンパス： 114.30m ² 、閲覧席32席 (27)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	2,722.39 m ²		テニスコート7面		多目的グラウンド1面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費に電子ジャーナル の整備費（運用コスト 等を含む）を含む。		
		教員1人当り研究費等	500 千円	500 千円	図書購入費	4,012 3,000 千円	1,000 千円	1,000 千円			
	共同研究費等	5,000 千円	5,000 千円	設備購入費	43,308 30,000 千円	3,500 2,500 千円	2,500 千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	教育環境の向上等を考 え見直したため (25)			
		1,770 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	- 千円	- 千円	教育環境の向上等を考 え見直したため (26)			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、補助金収入、資産運用収入等で充当								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医療健康学部作業療法学科	4	35	—	140	学士 (作業療法学)	1.02	平成25年度	石川県白山市笠間町1200番地	
医療健康学部理学療法学科	4	65	—	260	学士 (理学療法学)	1.07	平成19年度	同上	
社会福祉学部社会福祉学科									
社会福祉専攻	4	100	3年次5	410	学士 (社会福祉学)	0.73	平成12年度	同上	
こども専攻	4	50	3年次5	210	学士 (社会福祉学)	1.03	平成19年度	同上	
看護学部看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.13	平成27年度	同上及び石川県白山市倉光1丁目250番地	平成27年度増設
大学院リハビリテーション学研究科									
リハビリテーション学専攻	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション学)	0.60	平成27年度	石川県白山市笠間町1200番地	平成27年度新設
大学の名称	金城大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育)	0.98	昭和51年度	石川県白山市笠間町1200番地	
美術学科	2	65	—	130	短期大学士 (美術)	0.90	昭和51年度	同上	
ビジネス実務学科	2	135	—	270	短期大学士 (ビジネス実務)	0.89	昭和59年度	同上	
留学生別科	1	20	—	20		0.10	平成16年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療健康学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	コヤマ ショ子 小山 善子	平成25年4月	精神医学 生命と医療の倫理 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ 老年学						
専	教授	サワ シュンジ 澤 俊二	平成27年4月	リハビリテーション概論 作業療法概論 作業療法教育管理学 作業療法研究法 作業療法評価概論 地域リハビリテーション 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習	専	教授(学部長)	サワ シュンジ 澤 俊二	平成27年4月	リハビリテーション概論 作業療法概論 作業療法教育管理学 作業療法研究法 作業療法評価概論 地域リハビリテーション 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習	人事異動により平成27年4月より職名を変更(27)
専	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成25年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習	専	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成25年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習 健康科学 病理学	健康科学・病理学の担当を追加(26)
専	教授	コウノ ミツブ 河野 光伸	平成25年4月	リハビリテーション概論 作業療法概論 基礎作業療法 作業療法教育管理学 作業療法研究法 作業療法評価概論 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学Ⅳ(内部障害) 作業療法治療学Ⅴ(高次脳機能) 作業療法治療学Ⅵ(高次脳機能) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害) 日常生活活動学 日常生活活動実習 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	イナリ 猪狩 もとみ	平成25年4月	基礎作業療法学 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学Ⅳ(精神障害) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能) 作業療法治療学Ⅷ(発達障害) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害) 義肢装具学 義肢装具実習 日常生活活動学 日常生活活動実習 生活環境学 リハビリテーション 関連機器 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	准教授	イスマル トシヤス 犬丸 敏康	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 病態運動学 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	講師	ワタナベ トヨアキ 渡邊 豊明	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業学Ⅰ(木工・陶芸等) 作業学Ⅱ(革細工・藤細工等) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	講師	サカノ ナオキ 酒野 直樹	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 病態運動学 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業療法治療学Ⅱ (中核1) 作業療法治療学Ⅲ (中核2) 作業療法治療学Ⅵ (老年期) 作業療法治療学Ⅶ (高次脳機能) 作業療法治療学Ⅷ (職業前) 作業療法治療学実習Ⅱ (中核1) 作業療法治療学実習Ⅲ (中核2) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	助教	カワグチ トモコ 川口 朋子	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業学Ⅰ(木工・陶芸等) 作業学Ⅱ(革細工・藤細工等) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 総合学習						
					専	教授	ノムラ タダオ 野村 忠雄	平成26年4月	整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ 小児科学 リハビリテーション 医学	教育体制充実のため専任教員を追加(26)
兼任	教授 (学長) (学部長)	ナラ イサオ 奈良 勲	平成25年4月	リハビリテーション 概論	兼任	教授 (研究科 長) (学長) (学部長)	ナラ イサオ 奈良 勲	平成25年4月	リハビリテーション 概論	学長・学部長を退任したため 職名を変更(26) 研究科設置に伴い平成27年4 月より職名を変更(27)
兼任	教授	マツダ タカノブ 松下 高信	平成25年10月	スポーツ						
兼任	准教授	タケコシ アツシ 竹腰 敦	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ	兼任	教授 准教授	タケコシ アツシ 竹腰 敦	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ	昇格により平成26年4月より 職名を変更(26)
兼任	教授	ソ 哲 蘇 哲	平成26年4月	言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 東洋史						

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
兼担	助教	スギモリ キミカズ 杉森 公一	平成25年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 統計学 自然科学Ⅰ(生物系)	兼任 講師 兼担 助教	スギモリ キミカズ 杉森 公一	平成25年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 統計学 自然科学Ⅰ(生物系)	平成25年4月より非常勤講師となったため兼任教員に変更(25)
兼担	准教授	ウチ内 ケイスズ 内 慶瑞	平成25年4月	ボランティア入門 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ	兼担 教授 准教授	ウチ内 ケイスズ 内 慶瑞	平成25年4月	ボランティア入門 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ	昇格により職名を変更(25)
兼担	助教	キムラ ツヨシ 木村 剛	平成25年4月	自然科学Ⅱ(物理系) 自然科学Ⅲ(数学系)	兼担 講師 助教	キムラ ツヨシ 木村 剛	平成25年4月	自然科学Ⅱ(物理系) 自然科学Ⅲ(数学系) 統計学	昇格により平成26年4月より職名を変更、統計学の担当を追加(26)
兼担	教授	カワベ ヒロユキ 川邊 弘之	平成25年4月	自然科学Ⅳ(化学系) 自然科学概論					
兼担	准教授	タカシマ チセ 高島 智世	平成26年10月	社会学					
兼担	教授	スギヤマ マサキ 杉山 正樹	平成25年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 高齢者福祉論					
兼担	教授	コバヤシ チエヨ 小林 千恵子	平成27年4月	介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ ケアマネージメント					
兼担	教授	オカモリ セイゴ 岡森 正吾	平成25年10月	障害者福祉論		削除		障害者福祉論	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(野村 智宏)が当該科目を担当(28)
兼担	教授	カトウ シンイチ 加藤 真一	平成26年4月	法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法		削除		法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(岡野 大輔)が当該科目を担当(28)
兼担	教授	タテ ンイチロウ 館 惣一良	平成26年4月	日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ		削除		日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(和田 康一郎)が当該科目を担当(27)
兼担	教授	カナウ ヒロシ 加納 宏志	平成25年10月	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ					
兼担	准教授	サトウ カネリ 佐藤 香緒里	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ 解剖学実習	兼担 准教授	サトウ カネリ 佐藤 香緒里	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ 解剖学実習 生理学実習	生理学実習の担当を追加(25)
兼担	助教	ヤマモト タクヤ 山本 拓哉	平成25年4月	解剖学実習	兼担 講師 助教	ヤマモト タクヤ 山本 拓哉	平成25年4月	解剖学実習 生理学実習	生理学実習の担当を追加(25) 昇格により平成27年4月より職名を変更(27)
兼担	教授	オクダ ヒロキ 奥田 裕紀	平成25年4月	人間発達学 心理学 高齢者の心理 障害者の心理					
兼担	教授	ヒラグチ マリ 平口 真理	平成26年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ		削除		臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(長尾 紀久子)が当該科目を担当(28)
兼担	教授	タカバタケ トシカズ 高田 利一	平成25年10月	内科学Ⅰ 内科学Ⅱ 安全管理 感染防御					
兼担	准教授	テラオ ケンジ 寺尾 研二	平成26年4月	整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ	兼担 教授 准教授	テラオ ケンジ 寺尾 研二	平成26年4月	整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ	昇格により平成26年4月より職名を変更(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	カラスヤマ アキ 烏山 亜紀	平成26年4月	小児科学						
兼任	教授	キバヤシ ツム 木林 勉	平成25年4月	リハビリテーション概論						
兼任	助教	ニシ カヨ子 西 郁代子	平成28年4月	地域福祉論	兼任	講師 助教	ニシ カヨ子 西 郁代子	平成28年4月	地域福祉論	昇格により平成26年4月より職名を変更(27)
					兼任	講師	ノムラ トモヒロ 野村 智宏	平成25年4月	高齢者福祉論 障害者福祉論	障害者福祉論の担当を追加(28) 科目担当教員を追加したことにより、新たに就任(25)
					兼任	准教授	モトムラ トモアキ 元村 智明	平成26年4月	社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(26)
					兼任	助教	オカノ ダイスケ 岡野 大輔	平成26年4月	法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(26)
					兼任	教授	ヒラサワ モトアキ 平澤 元章	平成28年4月	レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ	担当者変更により新たに就任(28)
兼任	講師	ドウカイ サトシ 百海 智	平成26年4月	スポーツ理論	兼任	准教授	ドウカイ サトシ 百海 智	平成26年4月	スポーツ理論	昇格により職名を変更(28)
兼任	講師	ハタケ ノリコ 畠 紀子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ	兼任	講師	削除 シモカワ キミコ 下川 紀美子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(平澤 元章)が当該科目を担当(28) 担当者を変更したことにより新たに就任(27)
					兼任	講師	削除 トシオカ リカ 利岡 理香	平成27年10月	レクリエーション活動Ⅱ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(平澤 元章)が当該科目を担当(28) 担当者を変更したことにより新たに就任(27)
兼任	講師	オオツカ イワオ 大塚 巖	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アベ デビッド Abe David キヨシ Kiyoshi	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者を変更したことにより新たに就任(27)
兼任	講師	コハラ フミエ 小原 文衛	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	ウカジ マサコ 宇梶 昌子	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	キンバーリー キーフ Kimberly Keef	平成26年4月	言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ			削除		言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(竹原 敏)が当該科目を担当(27)
兼任	講師	ナガサカ テツ夫 永坂 鉄夫	平成25年4月	医学英語 健康科学	兼任	講師	ナガオ キク子 長尾 紀久子	平成27年4月	医学英語 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ	担当者を変更、及び科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)
							削除		健康科学	担当者変更により教員を削除。専任教員(森 啓空)が当該科目を担当(27)
兼任	講師	カトウ ヒロシ 加藤 博	平成26年10月	環境論						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	ハヤシ タツト 林 賢人	平成27年4月	自然地理						
兼任	講師	クロカワ タケト 黒川 威人	平成25年10月	美術						
兼任	講師	カサイ ミチキ 葛西 道生	平成26年10月	病理学			削除		病理学	担当者変更により教員を削除。他の専任教員(森 啓至)が当該科目を担当(27)
兼任	講師	ミノワ 恵美子 箕輪 恵美子	平成27年10月	カウンセリング演習						
兼任	講師	アサヒ トシアキ 旭 敏秋	平成25年10月	医学概論						
兼任	講師	オカダ シゲル 岡田 茂	平成25年4月	公衆衛生学	兼任	教授	アサノ シュウジ 浅野 周二	平成28年4月	公衆衛生学	担当者変更により新たに就任(28)
兼任	講師	マルタ カズオ 丸田 和夫	平成25年10月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	マツウラ マリヨ 松浦 万里子	平成25年4月	社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ			削除		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ	担当者変更により教員を削除。他の兼任教員(元村 智明)が当該科目を担当(27)
兼任	講師	コウベ アキオ 神戸 晃男	平成27年10月	スポーツリハビリテーション						
					兼任	講師	クマダ Carolyn 熊田 Carolyn	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科目担当教員を追加したことにより、新たに就任(25) 英語Ⅲ、英語Ⅳの担当を追加(26)
					兼任	講師	ヤマモト タク 山本 卓	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(26)
					兼任	講師	チャカニ アケサ 茶谷 丹久	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(26)
					兼任	講師	ワダ コウイチロウ 和田 康一郎	平成26年4月	日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(26)
					兼任	講師	インガイ サエコ 磯貝 サエ子	平成27年4月	介護福祉論Ⅰ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等
 (2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	2	2	1	9	5	2	2	1	10	5	2	2	1	10
(3)	(2)	(2)	(1)	(8)						[1]	[0]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	3 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 ※該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 ※該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 ※該当なし

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

※ 個人情報等を含む内容については記載いたしません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	医療健康学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	平成27年度より、大学院（リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻）の設置を計画していたため、その基礎となる医療健康学部の教育研究環境の充実を図ることとし、平成26年度より、作業療法学科に教育研究業績が豊富な定年を超える専任教員1人を採用した。 引き続き、定年規程の趣旨、「定年を超える教育職員の採用（医療健康学部作業療法学科）に関する特例」の適切な運用、教育体制の維持及び充実、教育研究の質の継続性が保たれるよう努めていく予定である。 また、専任教員の完成年度における年齢構成は、60歳以上が3人、59～50歳以上が2人、49～40歳以上が3人、39～30歳以上が2人となるが、完成年度以降の退職予定者や職位・年齢構成バランス等も考慮の上で、教育研究の継続性に鑑み、公募などによる優秀な人材の確保に加え、教育研究業績を審査の上、教授、准教授、講師への昇任が可能となるよう、教授の指導の下、専任教員の教育・研究能力等の向上を図っていく。

<p>設置計画履行状況 調査時 (平成28年2月)</p>	<p>医療健康学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成27年度、定年規程に定める退職年齢を超える教員2人については、各学問分野での教育・研究実績等において十分な経験を有していることなどから、引き続き「定年規程」の趣旨を踏まえ、「定年を超える教育職員の採用（医療健康学部作業療法学科）に関する特例」の適切な運用、教育体制の維持及び充実、教育研究の質の継続性が保たれるよう取り組み、これらの教員の見識等を教員組織全体で継承するよう努めている。</p> <p>また、今年度（平成27年度）は、4月1日付けで助手1人を新規採用するなどして、将来的にも教育研究体制の継続性及び充実が図れるよう教員組織編制を検討し、取り組んでいる。</p>	<p>完成年度（平成28年度）における専任教員の年齢構成は、60歳以上が3人、59～50歳以上が2人、49～40歳以上が3人、39～30歳以上が2人となるが、60歳以上の3人の内、65歳を超える年齢の教員1人が同年度末に退職する予定である。</p> <p>上記から、完成年度以降の退職予定教員が担当する科目の適切な後任教員の補充、職位・年齢構成バランス等も考慮の上で、引き続き教育研究体制の継続性等を鑑みて、公募などによる優秀な人材の確保に加え、教育研究業績を審査の上、教授、准教授、講師、助教への昇任が可能となるよう教育研究活動活性化のための支援体制をいっそう充実させ、教授指導の下、専任教員の教育・研究能力等の向上、教員組織の機能充実等を目指し取り組んでいく計画である。</p>
---------------------------------------	---	-------------	--	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜医療健康学部 作業療法学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見直しなど
	<p>金城大学医療健康学部作業療法学科設置届出書（平成24年4月27日届出）の学則別表1の3および1の4において、「地域福祉論（専門展開科目 選択2単位）」を、誤記により「地域福祉論Ⅰ（専門展開科目 選択2単位）」および「地域福祉論Ⅱ（専門展開科目 選択2単位）」としていたため、訂正する。なお、届出書において当該部分の誤記は学則別表1の3および1の4のみである。（25）</p> <p>学則別表1の3および1の4 専門展開科目 （誤）地域福祉論Ⅰ 選択 2単位 地域福祉論Ⅱ 選択 2単位 ↓ （正）地域福祉論 選択 2単位</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 企画調査委員会規程及び年次報告（別紙（添付資料1-1、1-2）のとおり）を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回（委員構成は、別紙（添付資料2）のとおり）開催し、毎回、出張等を除き、全ての委員が参加</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・ FD研修会の企画・運営 ・ 授業アンケートの運営 ・ 公開授業の運営 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 （企画調査委員会担当の取組） ・ FD研修会（年2～3回程度） ・ 公開授業（教員相互の授業参観） ・ 学生との意見交換会 ・ 授業アンケート ・ オフィスアワー （企画調査委員会以外の取組） ・ 新任教職員研修</p> <p>b 実施方法 FD研修会については、講師を招請し、例年2～3回程度実施。オフィスアワー、公開授業、学生による授業アンケート（非常勤講師を含む。）は、各セメスター（前・後期）で実施。学生との意見交換会は年1回（学部別）実施している。また、新任教職員研修については、年1回、建学の精神、教育理念、歴史、大学を取り巻く環境等についての研修を行っている。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） FD研修会については、専任教員6～7割が参加。オフィスアワー、学生による授業アンケートについては、全教員（非常勤講師も含む。）の授業を対象に実施している。公開授業についても、全教員（非常勤講師も含む。）を対象として前期の特定期間及び後期の全期間を公開授業期間とし、また、後期には重点期間も設け、教員同士が授業の参観を実施している。学生との意見交換会については、学部・学科ごとに選ばれた学生に参加依頼し、毎年、授業面や福利厚生面等に係る意見交換を行っている。また、新任教職員研修については、毎年、新任の教職員を対象に年度当初に実施している。</p>
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケートについては、学内ホームページによる結果公開を行っている。また、公開授業については、参観者の増加及び参観者コメントの利用促進を図り、授業改善につなげている。平成27年度FD研修では、個人情報保護に関する研修会や外部資金獲得に向けた研修会の他、平成25年度からの中央教育審議会の答申等も踏まえ、前年度に引き続き授業改善に直接役立つ方法や学習支援方策等に関する研修会を開き、各教員が個々の授業、学生支援に活かしてきており、また、更にマクロレベル（管理者・組織レベル＝教育理念、学園の方針、制度政策や社会情勢）とマイクロレベル（教員個人レベル、授業・教授法レベル）をバランスよく取り入れ実施することができた。引き続き、学生との意見交換の結果を踏まえ、学長、学部長、企画調査委員会が主導して授業改善、学生指導等に係る取組の改善を継続して実施していくなどして、継続した組織的な教員の質的向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

上記にも記載した通り、学生による授業アンケートについては、毎年、前期（7月）、後期（1月）に実施（非常勤講師を含む。）している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記にも記載した通り、授業アンケートの結果について、教職員に対しては教授会での全体報告に加え、教員個人向けの結果通知も行い、今後の授業改善等に役立つよう周知、活用している。また、学生等に対しては、学内ホームページを通じて随時結果を閲覧、意見等を述べられるよう体制を整備している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙（添付資料3）のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年6月

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、近隣の大学を中心とした高等教育機関及び希望のある利害関係者に配付予定
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・1回目の認証評価は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構を受審しており、「同機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。また、2回目の認証評価は、昨年度（平成27年度）に同機構（現名称：公益財団法人日本高等教育評価機構）を受審し、「同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されている。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日) ※ 平成28年度中を予定